

250227 大分県府のデータの収束状況 その4



昨日配信の、逆ラジオ通信 No.54 W-250226 にく【大分県府】の収束で、九州、豊後水道、日向灘の周辺に大規模地震の可能性として、次の予想を載せています。

震源：宮崎県沖・日向灘、あるいは大分県周辺・豊後水道など

地震の規模：M7.5 前後の大地震

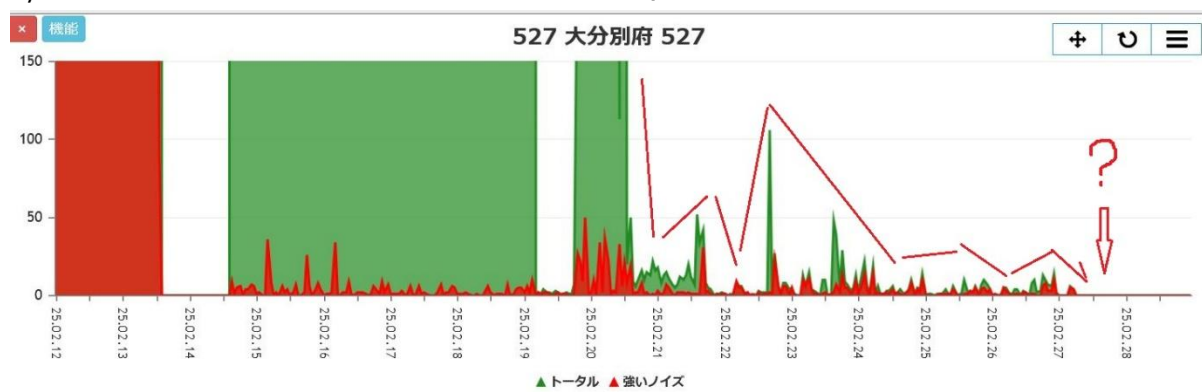
発震予想：2月26日から5日間程度

但し、仮に昨年8/8日向灘 M7.1と同様の経過になると30日程度先になることも考えられます、として、この先のデータの推移を注視することになります。本日2月27日の段階で、【大分県府】と【佐賀】のデータはほぼ収束しており、この2か所のデータからは大地震の発生は、秒読み、と言えます。ただ、前回遅れて減衰した【熊本宇城】が昨日減衰したようなデータになっていますが、これは観測点で装置を移動させたことによる人為的なものの為、本来のデータの減衰ではありません。昨日からの繰り返しになりますが、以下に参考までに最新のデータを載せます。

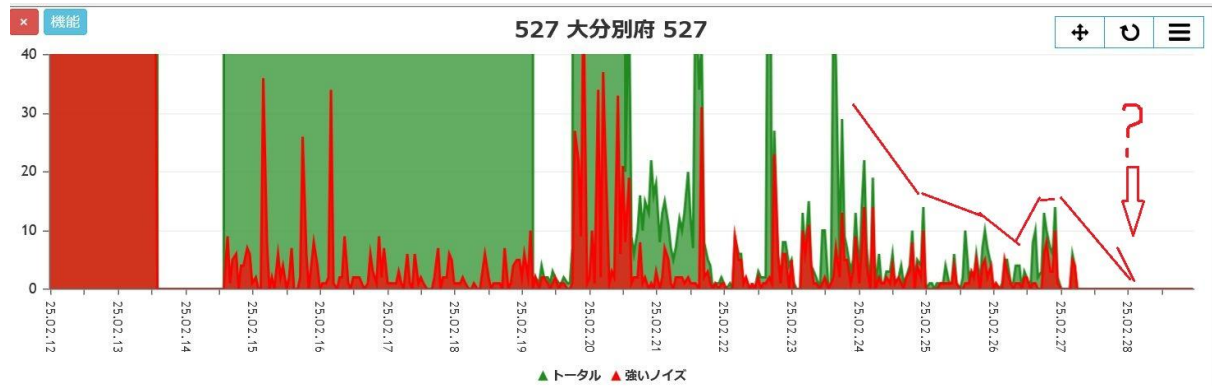
大分県府 360日間データ



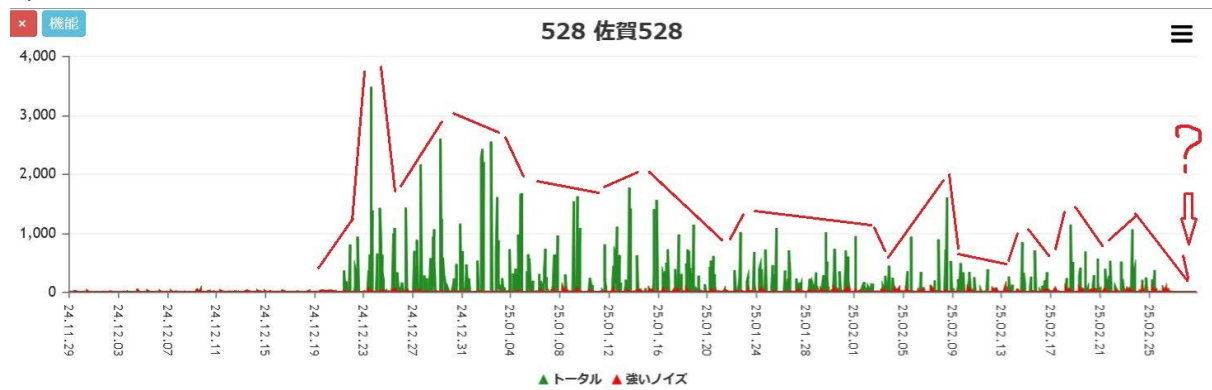
2/27現在 大分県府 15日間データ (拡大 その1) > ほぼ収束状態



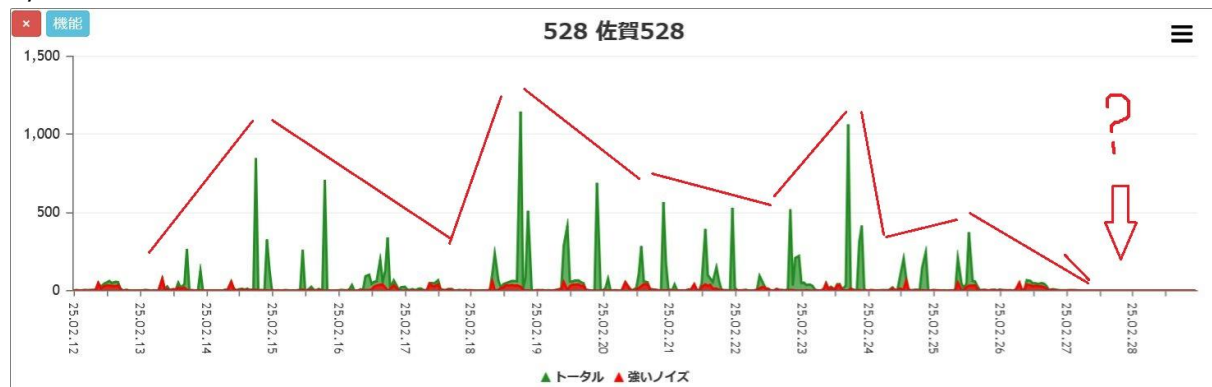
2/27 現在 大分県府 15 日間データ (拡大 その2)



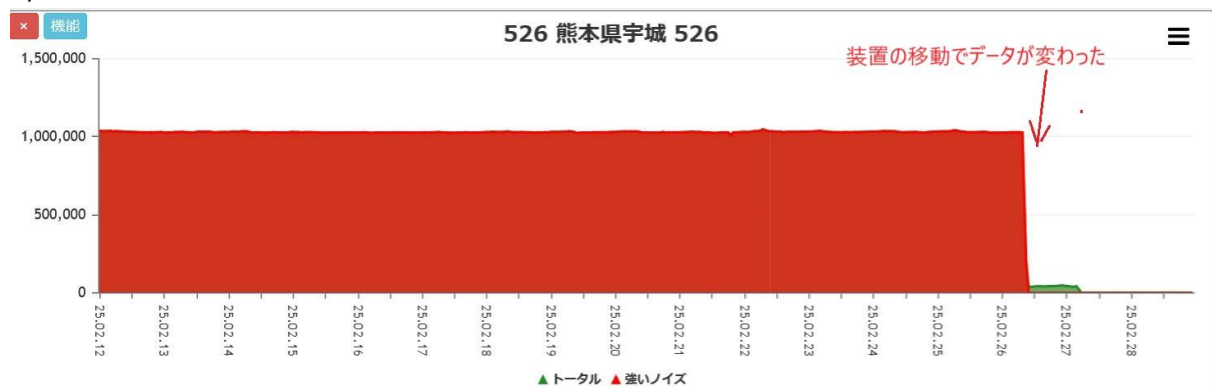
2/27 現在 佐賀 90 日間データ



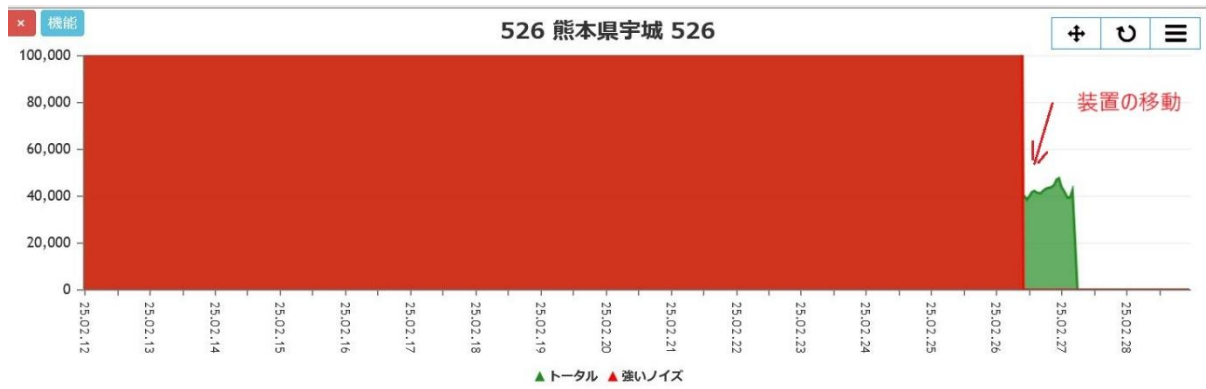
2/27 現在 佐賀 15 日間データ > ほぼ収束状態



2/27 現在 熊本 宇城 15 日間データ > 急な減衰は装置を移動による人為的なもの

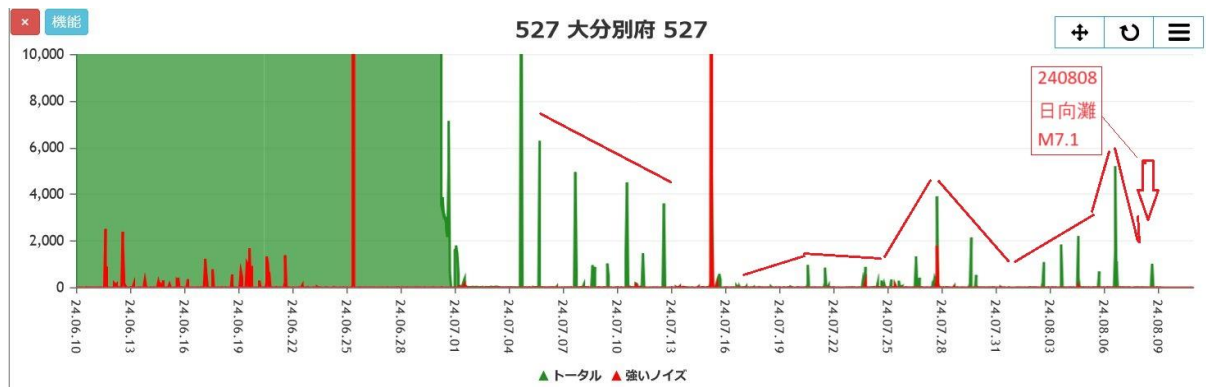


2/27 現在 熊本 宇城 15 日間データ (拡大) > 急な減衰は装置を移動による人為的なもの



<参考 昨年 8/8 の事例との比較について>

2024 年 8 月 8 日 日向灘 M7.1 の前兆として 大分県別のデータは 発震の約 40 日ほど前の 7 月 1 日に急に減衰して、その後小さいデータの増減が続いていました。



しかし、熊本宇城は発震のわずか 4 日前の 8 月 8 日に減衰しています。

